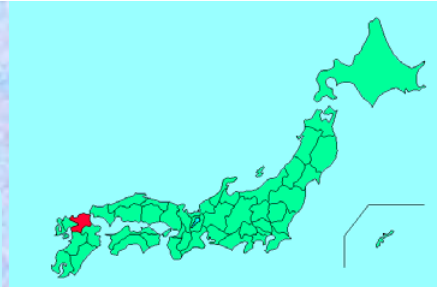




なんちくばし
南筑橋

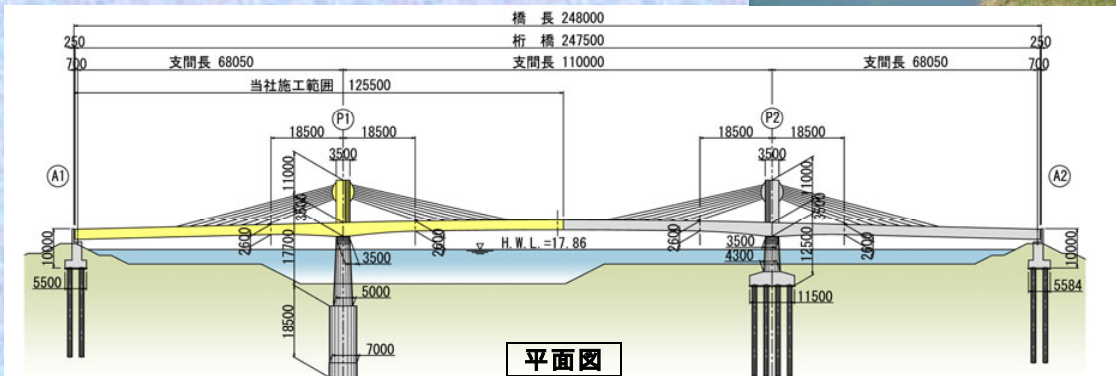
本橋は、一級河川矢部川を横断する橋長 248 m の 3 径間連続 PC エキストラードロード箱桁橋です。架橋地点から約 50 m 上流には現在供用中の旧南筑橋がありますが、この橋梁が過去の水害で流出した経緯があること、また近年当該路線が県南部と九州自動車道とのアクセス道路として、交通量の増加と車両の大型化が進んでいることにより代替橋が必要であるとのことからその新設が計画されました。

橋梁形式の選定にあたっては、周辺環境と調和し、筑後広域公園の玄関口としてシンボリックで景観に優れた形式であること、架橋位置の線形的な制約により出来る限り桁高の低い形式が必要とされ、エキストラードロード橋が採用されました。

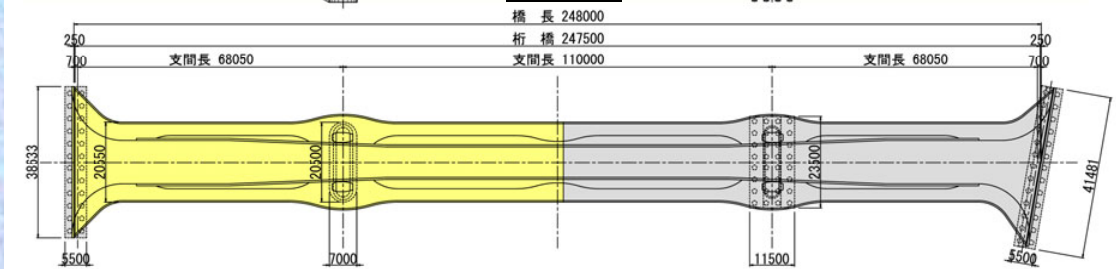


一般図

側面図



平面図

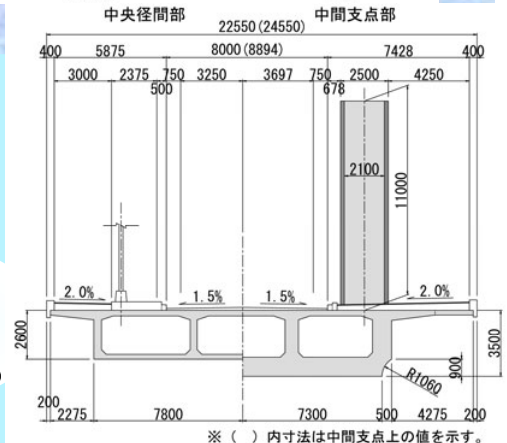


橋梁諸元

発注者：福岡県
 設計者：第一復建株式会社
 位置：福岡県山門郡瀬高町大字小田～筑後市大字溝口
 道路規格：第3種第2級
 形式：3径間連続PCエキストラードロード箱桁橋
 荷重：B活荷重
 橋長：248.0m (68.050m+110.000m+68.050m)
 総幅員：20.550m～39.885m (有効幅員 車道部：8.000m～11.250m、
 歩道部：2×4.250m～2×5.875m)

架設工法：張出し架設工法

PC鋼材：斜材	SWPR7B 37S15.2	(ディビダーク工法)
主鋼材	SWPR7B 12S12.7	(フレシナー工法：内ケーブル)
床版横締め鋼材	SWPR19 1S28.6	(SM工法：プレグラウト鋼材)
鉛直締め鋼材	SBPR930/1180 32	(ディビダーク工法)



※ () 内寸法は中間支点上の値を示す。

断面図

構造・施工概要

1) 国内有数の広幅員を有するエクストラロード橋

本橋は、国内有数の広幅員を有するエクストラロード橋です。そのため施工にあたり、張出し施工における主桁の温度応力解析を行い、発生応力の確認と補強を行いました。また、主塔サドル部および主桁側の斜材定着部についてもFEM解析により発生応力の確認と補強を行っています。

2) 斜材にマルチエボキシケーブルを採用

斜材には、施工性・耐久性に優れたセミプレファブ型のマルチエボキシケーブルを採用しています。



P1 側張出し架設状況



工程表

項目	平成16年												平成17年												平成18年					
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6					
準備工																														
柱頭部工																														
主塔工																														
張出し施工																														
側径間・中央閉合部																														
仮固定撤去																														
橋面工																														



三井住友建設

発行：三井住友建設（株）土木本部 土木設計部
 連絡先：東京都中央区佃2丁目1番6号 TEL03-4582-3063
 URL：http://www.smcon.co.jp